

2019 年度 デジタル・ビジネス研究

第 6 回研究会

開催日： 2020 年 2 月 14 日

テーマ： ソフトウェア開発について

講師： 川口 耕介 氏 (CloudBees.Inc CTO)

議事概要：

- ・ アメリカで長年 CI/CD (継続的インテグレーション/継続的デリバリー)を推進してきている。日本にも広めたいが、そのためには日本とアメリカでソフトウェア開発に関する考え方が大きく異なることを理解する必要がある。アメリカでは、「ソフトウェアは生き物だ」という考え方が根幹にある。ソフトウェアは生きており常に少しずつ変化している。ちょうど子育てのようなものである。目指すべきゴールはあるが、日々は小さな変化を繰り返していくのがソフトウェアだという考え方である。
- ・ 一方、日本ではソフトウェアを「家を建てるようなもの」だとみなして決められたゴールに向けて突き進んでいくように見える。家を建てたいときにプロを読んで家を建ててもらおう。改装は後日別口でやろうと考えている。これは大きな違いである。

考えなければいけないのは、日本のソフトウェア産業をどのような方向性に向かわせるかということである。クリスマスのように異なる文化の要素を換骨奪胎して吸収し、アメリカ方式とは違う独自の競争力ある路線を目指すのか、もしくはアメリカ方式をちゃんとコピーした「出島」をどこかに作ってそこでの成功を広げていくのか。そこが大きな論点になる。